

YAMAGATA★IBUKI Vol.127

山形 いぶき



YNA 夢・ナースング・愛



TOPICS

- ❖ 会長あいさつ・在宅看護学術集会
- ❖ 「訪問看護会館」竣工式・祝賀会
- ❖ 研修報告
- ❖ 事業報告
- ❖ 支部活動
- ❖ welcome 山形



平成 26 年度会員数
(11 月 20 日現在)

保健師	388
助産師	353
看護師	6,394
准看護師	240
計	7,375

平成 27 年度「日本看護協会通常総会・職能別交流集会」

- 期日：平成 27 年 6 月 9 日（火）～ 11 日（木）
- 場所：兵庫県 神戸国際展示場

平成 27 年度「山形県看護協会通常総会並びに職能研修会」

- 期日：平成 27 年 6 月 19 日（金）
- 場所：山形県看護協会会館・看護研修センター 3 階第 1 研修室 他

山形県看護協会ホームページ

<http://www.nurse-yamagata.or.jp>

県ホームページ「すまいる山形暮らし情報」
からもリンクできます。

山形県看護協会



機種によってはアクセス
できない場合があります

平成 26 年度の上半期を評価し、下半期活動 そして次年度の事業計画に向けて

～「訪問看護会館」新築オープン・日本看護学会—在宅看護—学術集会開催を終えて～

会 長 川 村 良 子

日頃より、山形県看護協会活動に関してご指導、ご協力いただき深く感謝申し上げます。

看護職の皆さまには、保健・医療・福祉・在宅の現場で専門職として、日々ご活躍いただいていることに対し心より感謝申し上げます。

今、世界中が自然災害に見舞われております。日本でも集中豪雨、そして御嶽山の噴火など、全国各地で災害が発生しております。お亡くなりになりました方々に対し心からお悔やみ申し上げますとともに、被害にあわれた方々にお見舞い申し上げます。

さて、山形県看護協会活動は、現在上半期の実施・評価を行いながら下半期の活動を計画に沿って実践しております。加えて、次年度に向けての活動計画案の作成に取り組んでいるところです。

その中から、上半期には「公益社団法人山形県看護協会 訪問看護会館」が去る9月に、会館の東側に新築オープンし、内覧会・竣工式・祝賀会を手作りにて開催致しました。加えてこの訪問看護会館内に、山形県内の訪問看護ステーション間の連携と質の向上に努めていければと考え、山形県訪問看護ステーション連絡協議会事務局を設置し、来年4月に開設予定で準備を行っているところです。

また、既に通常総会にてご承認をいただいております山形市内にある3つの山形県看護協会訪問看護ステーション「やまがた」「べにばな」「小白川」を、質の向上と機能強化型訪問看護ステーション申請に向け、去る9月に合併・統合し、訪問看護会館内に「訪問看護ステーションやまがた」、山形市立病院済生館内に「訪問看護ステーションやまがたサテライトべにばな」として活動を行っております。「訪問看護ステーション小白川」は、去る8月31日をもって廃業致しました。

今まで山形市内の3つの訪問看護ステーションをご支援いただきましたことに対し、深く感謝申し上げますとともに、今後とも今まで通り活動を行っておりますので、ご指導・ご鞭撻のほど宜しくお願い致します。また、皆さま方には「訪問看護会館」をご訪問いただき、ご意見・ご要望などをお寄せいただければ有り難く思います。なお、ご訪問をなさる場合は事前にご連絡をいただきたくお願い致します。

そして下半期に入り、去る10月2日（木）・3日（金）の2日間、山形テルサにて日本看護学会—在宅看護—学術集会を開催いたしました。事前・当日登録者数1,117名、山形県内の看護学生延べ452名、県民公開講座（シンポジウム）の一般参加者116名など、予想以上方々のご参加をいただき開催することができました。この学会にかかわっていただきました全ての方々に深く感謝申し上げます。この学会より発信致しました在宅看護に関すること、東日本大震災復興に関することが更なる充実に向けて歩き始めていることを実感しております。

最後に、山形県看護協会活動につきまして、会員の皆さま、OBの皆さまはじめ関係諸団体の皆さまには、今後ともご支援、ご協力をいただければ有り難く思います。

加えて、これから寒さに向かっていきますので、皆さま方にはくれぐれもお体にお気をつけてお過ごし下さるようお願いしております。



在宅看護学術集会



川村会長あいさつ



吉村県知事あいさつ



嘉山孝正氏の基調講演



坂本すが氏の特別講演



東日本大震災復興支援事業の発表



お土産売場も賑わって！



多くの人が参加した示談会場



4会場を使った口演会場も盛況に



会場もほぼ満席に！

「つなげよう ひろげよう 在宅看護」が盛会に終了

学術集会実行委員長 遠藤 恵子



10月2日3日、山形テルサで、川村良子学術集会長のもと標記学会を開催しました。参加人数は2日間で1,100人を超えました。特別参加、学生参加を加えると2日間の実参加者は1,500人以上となり、目標の1,000人を大きく上回りました。吉村県知事はじめ関係各位からご臨席いただき、嘉山孝正先生、坂本すが先生、齋藤訓子先生、宮崎和歌子先生の講演は最後まで満席、県民公開講座では多くの市民にご参加いただきました。また北海道から沖縄までの136題の研究発表では、活発な意見交換が行われました。

山形県から「つなげよう ひろげよう 在宅看護」を強く発信し、参加者それぞれの形で「つながった ひろがった 在宅看護」となり、今後さらに「つながる ひろがる 在宅看護」になることと確信しています。

約2年間の準備と迅速・適切・誠実な運営にかかわってくださった、実行委員、運営委員、抄録選考委員、協会事務局、すべての関係者の皆様に心より感謝申し上げます。

シンポジウム



県民公開講座「チームでとりくむ在宅ケア～その人らしく過ごすために～」

済生会山形訪問看護ステーション管理者 岡田 陽子

訪問看護師の立場から県民公開講座のシンポジストとして参加させていただきました。学会の企画で開催された県民公開講座ということで一般の方々の参加も100人を超え、立ち見もある熱気の中で4人のシンポジストがそれぞれの立場で在宅ケアの現状や思いを伝え、チームとして関わる大切さ、そのチームの中で看護師は、医療と介護と地域をつなぐコーディネーターの役割を果たして行かなければと強く再確認しました。貴重な体験をありがとうございました。

県内認定看護師が力を結集した技術交流会

技術交流会Ⅰー口腔ケア編



在宅で食べる事を意識した 口腔ケアの実践を企画・運営して

山形大学医学部附属病院 大泉 美喜
(摂食・嚥下障害看護認定看護師)

在宅で元気に過ごすために、口から食べて欲しいという思いから、口腔ケアのテーマを～誤嚥性肺炎予防とおいしく食べる口づくり～としました。技術交流を深めるためにはと、打ち合わせを繰り返し、グループでのディスカッションや口腔乾燥の体験、喉頭モデルを使用し口腔から咽頭への食べ物の流れを学習するなど、体験学習を設けるように企画しました。参加者の皆さんから「実際にできてよかった」「満足した」との反応をいただきました。このような機会をいただき本当にありがとうございました。



技術交流会Ⅱー痛みのケア編



皆で作り上げた技術交流会

山形県立中央病院 蜂谷 博子
(緩和ケア認定看護師)

今回、「病院と地域をつなぐ痛みのケア」というテーマで技術交流会を企画・運営を担当させて頂きました。また、初めて座長を引き受けることになり、自分に出来るのかと不安で一杯でした。

何も無い所から形にしていくという作業は本当に大変でしたが、実行委員の皆様と何度も集まり検討していく中で、団結力が強くなるような気がしました。一つの企画を皆で作り上げられたことは、大変貴重で大きな経験となりました。そして何より、自身が在宅看護について学ぶ機会となりました。交流会に参加して下さった方々、看護協会及び実行委員の皆様、本当に有難うございました。



技術交流会Ⅲー排泄ケア編



「心地よく過ごすために、きちんと学ぼうオムツについて」 を企画、実施して

山形大学医学部看護学科教授 片岡 ひとみ
(皮膚・排泄ケア認定看護師)

使用頻度の高いオムツについての理解を深めて頂きたいという思いから、県内の皮膚・排泄ケア認定看護師5名と共に、企画、実施致しました。当日は立ち見が出るほどの反響となり、関心の高さが伺えました。オムツ装着の演習では、参加者全員が積極的に取り組まれ、また演習終了後も終了時間ぎりぎりまでグループ担当講師と共に活発なディスカッションが行われていました。参加された方々には、今回の交流会の学びを日々のケアに活用頂き、オムツ利用者が心地よく過ごせるための排泄ケア提供の一助となれば幸いです。



栄ある受章おめでとうございます

叙勲 瑞宝単光章

増川 令子 (元山形大学医学部附属病院看護部副看護部長)

「訪問看護会館」が完成しました！

訪問看護会館内覧会・竣工式・祝賀会を開催

訪問看護総括理事 鈴木郁子



平成26年9月5日（金）に来賓16人、協会関係者16人の参加で内覧会、竣工式、祝賀会を無事終了しました。会長の挨拶では、この会館は協会訪問看護ステーションの連携、質の向上だけではなく、山形県の在宅ケアの充実に力を注ぐという公益目的としての活用を含めた会館にしたいと述べ、山形県健康福祉部の中山部長からは、これからの在宅ケアを支えるためには訪問看護は大切で大いに期待したいと祝辞をいただきました。その後、訪問看護会館建設に多大な功績があった株式会社平吹設計事務所と榮大建設株式会社に感謝状が贈られました。祝賀会を含み3時間のお祝い会でしたが、手作りの竣工式、祝賀会がよかったとの感想をいただいたところです。また、東京都の今野フサ子様、会長の川村様からご寄付をいただき、研修室、会議室の机、椅子を購入しました。10月1日からは貸出しも可能ですのでご相談ください。



研修会場



内覧会

● 竣工式 ●



平吹設計事務所・榮大建設に感謝状贈呈



山形県健康福祉部長あいさつ

● 祝賀会 ●



手作りで和やかな雰囲気です！

訪問看護会館に入居して

訪問看護ステーションやまがた 副所長 須藤京子



平成26年8月12日に訪問看護会館が完成し、9月1日より山形市内の協会訪問看護ステーションが統合され、「訪問看護ステーションやまがた」としてスタートしました。

数年前より統合についての検討を重ね、ようやく統合したという感じです。具体的な準備については、10回の訪問看護会館検討委員会、3回の事務会議を経て慌ただしく準備していききました。

しかし、大きな問題なく移行できたのは、協会職員の皆様、他のスタッフの協力があつたからの事と思います。

統合後2カ月が経過していますが、まだまだ旧ステーション間の細かい違いはありますが、

職員間での話し合いを重ね、日々前進していきたいと思っています。

また、訪問看護会館が完成し、県内の連携や発展の為に拠点としての働き、また公益としての役割を果たして行けるよう努力していきたいと考えています。

これからも職員一同、在宅療養の利用者様が安心してご自宅で生活できるよう、看護の知識、技術向上の為に日々努めて参りたいと思います。

ご指導のほどよろしくお願いいたします。



訪問看護会館ロビーの「大人の塗り絵」



職員も多くなり、明るい事務室でミーティング

新規研修

「男性看護職の看護観を語る」研修会に参加して

山形済生病院 岡崎 雅 則



男性看護師のみを対象とした研修は山形県看護協会では初の取り組みとなりました。「女性が多数を占める看護界で男性看護師はどんな思いで看護に臨んでいるのか、経験、事例から報告。男性看護職ならではの看護観を語り、男性看護職の知名度アップの方法を探る。男性看護師のネットワークを広げる。」という目的で開催いたしました。男性の県看護協会会員数は336名（保健師5名）ですが、今回の研修には70名以上に及ぶ方が参加され、会場は男性のみで埋め尽くされ、普段とは違う異様な光景となりました。

研修会では協会理事・山形支部長の田代久男先生から「男性看護師の今と未来」とい

うテーマで、看護の歴史から見る男性看護師、体験談、そして男性看護師の将来性についてのお話があり、ワークショップでは、「男性としての看護観、経験談」というテーマで、管理職、認定看護師、教員、保健師とそれぞれの立場から看護という仕事選択するに至った経緯や今の現状について発表がありました。グループディスカッションでは、「将来、未来に向けての働きやすい職場作り」というテーマで意見交換が行われました。少数派である職場での悩みや不安についてなど切実な現状の訴えもありました。年々人数が増えている男性看護師ですが、今回の研修会を基に男性看護師の輪が広まっていく事を期待しております。



セカンドレベル教育課程

残暑から落葉、そして今

山形県立河北病院 長谷部 紀 昭



すっかり木々の葉も落ち、雪の華の季節となりました。

早いもので講習が終了して一カ月余が過ぎようとしています。皆様、お加減はいかがですか。

さて、現場に戻り、理想とする管理者を目指し自己変容するはずだったのに、ふと気づくと以前と同じヤッツケ仕事に没頭する自分が居たりしてませんか？ そんな時は、第1回めのノート開きをやってみましょう。多分、その中にはこんな内容が強い筆跡で刻まれているのでは…。人口問題を発

端とする保健医療制度改革の大きなうねりの中での講習であった事、またそれがingの状態であり、自身がその渦中にある事、一歩踏み出す勇気なんて甘い事を云っている場合ではなく、踏み出すしかない状況である事が甦って来る筈です。

加えて、ヒト、モノ、カネを溢れる情報を取捨選択、駆使してPDCAサイクルを回し活用しなければならない事、ネットワーク、チームワーク、フットワークを活かし在宅への流れを早急に作る必要がある事も記されていますね。

また、自分の病院、部署を外から観ての冷静な感想や、多士済々、色々な強い個性と触れ合えた事がノートの片隅に書いてあるでしょう。それを見つけて、笑顔や声がリフレインし、元気を再びチャージできると思います。きっと。

結びとなりますが、今回の長期研修を支えて頂いた協会関係者、快く送りだして頂いた自部署の皆様へ深く感謝し行動を持ってお返しをする事とします。

追伸、名刺交換の達人Sさん、焦らないで諦めないでre try！ 待ってます。

これを5本目のレポートとしペンを置きます。 50% オジサンでした。

山形県健康福祉部との 業務推進懇談会を開催

平成26年9月5日（金）午後、山形県健康福祉部の阿彦忠之医療統括監をはじめ、地域医療対策課と健康長寿推進課の課長、課長補佐、担当主査等8名をお迎えして開催しました。当協会からは理事会の構成員と事務局役職者が出席し、提出議題について情報交換を行いました。

今年度のテーマは（1）看護職が働き続けられる職場づくりの推進（2）看護の質向上のための活動の強化と充実（3）長期的な療養生活を支える在宅ケアの充実・強化を挙げ、平成27年10月より開始される離職者のナースセンター登録の努力義務化に伴うナースセンター事業の強化や准看護師制度の問題、訪問看護ステーションの整備、介護・福祉・在宅領域の看護職の勤務環境改善等について意見交換がされました。建設的な意見交換により、今後さらに行政との連携の強化を図ることができます。



今年も福島市飯坂の 仮設住宅で「芋煮会」を実施



秋晴れの下、笑顔いっぱいの芋煮会

昨年に引き続き、10月26日（日）福島市飯坂の双葉町住民の仮設住宅において「芋煮会」を行いました。今回は福島県の委託事業の一環として、そして、ボランティア活動として実施しました。事務局職員や有志よりカンパをいただき、60人分の食材と「まちの保健室」の道具一式を持って、9名で出かけました。

この日は秋晴れの暖かな天気に恵まれ、1日早く出かけた阿部恵子さん（鶴岡市立荘内病院）と住民の方が集会場の縁側で日向ぼっこをして待っていてくれました。到着と同時に開始した「まちの保健室」に多くの方が訪れ、芋煮ができるまでの時間を語らいながら過ごしてくださいました。また、広場で炊く芋煮の様子を珍しそうにながめ、「山形では牛肉を使うんだー！」とか「しょうゆ味なんだー！」と盛り上がっていました。

集会場の前にブルーシートを敷き、青空のもと、みんなで食べる「芋煮」や「新米のつや姫のおにぎり」「手づくりの料理」は格別で、住民の方に大変喜んでいただきました。また、参加者にとっても住民の方々との一時は、とっても貴重な体験となりました。

看護職のワーク・ライフ・バランス推進ワークショップ開催

平成26年度「看護職のWLB推進ワークショップ」を9月11・12日に開催しました。当協会は平成25年度より、病院全体で看護職員の働き続けられる職場づくりを目指す取り組みを支援する「看護職のWLB推進ワークショップ」事業を行っています。今年度は新たに2施設が加わり、県内8施設が取り組んでいます。ワークショップの参加者は公開講座を含め133名でした。

参加施設からは、「この取り組みにより施設内でのコミュニケーションが円滑になり、看護職から他職種へ誰もが元気で働くことができる労働環境づくりの一步となった。」「ワークショップは施設を超えて情報の共有が図られ

とてもよかった。」等の声が寄せられました。

平成27年1月30日（金）開催の「フォローアップワークショップ」では、参加施設の4か月間の取り組みの報告がされることから、公開講座となります。



若きもベテランも一緒に熱の入った討議



リラクゼーション体操でリフレッシュ！



県・尾花沢市合同総合防災訓練

山形県市町村合同総合防災訓練 In 尾花沢 災害看護対策委員長 青木実枝

山形県の総合防災訓練は、毎年9月第1日曜日に山形県と市町村が合同で実施しています。

訓練の企画は、担当市町村が自地域の特徴を生かして策定しているため、企画のねらいは孤立村落の救出、高層ビルからの救出、災害救助犬の活動等々、多様です。訓練に参加する組織・団体も、住民、学校、消防、警察、自衛隊、医療機関、ライフライン等に関わる一般企業、炊き出しボランティア等々、これも多様です。看護協会は平成20年から参加しており、今年度は災害支援ナースを中心に20名参加いたしました。

尾花沢市の企画のねらいのひとつは被災者数をシークレットにして、避難者数・搬送される負傷者数に合わせて、混乱状況の中で柔軟に、しかも迅速に救援・救護活動を行う体制を整え実施することにあります。暑さと緊張感と戦いながらの訓練となりました。

合同訓練における看護協会に求められる役割も年々変化していますが、災害看護対策委員会も目的を持って参加しています。現在の目的は、山形県保健医療計画に、「避難所等における心身の健康管理の確保を目的とした災害支援ナースの派遣を行う体制を整えています」と明記されている期待に応える手順を作成することです。訓練に参加した支援ナースの意見をもとに内容を修正し、「避難所における災害支援ナースの活動についてー避難所における心身の健康管理ー」が完成しました。今後は、現地救護所における活動手順作成を進める予定です。

また、災害看護対策委員会は支援ナースと顔の見える関係づくりのため、訓練終了後の交流会を大切にしています。交流会では緊張から解放された安堵感と充実感につつまれ、和やかなひと時を持つことができました。



避難所開設運営訓練



応急救護所設置運営訓練

「まちの保健室」開催しました。

「まちの保健室」推進委員会

＜ひまわり温泉ゆ・ら・ら＞

委員長 岡野恵美子

平成26年8月30日（土）実施延べ人数51名の参加がありました。

温泉に入る前や温泉に入った後にゆっくりと落ち着いて話ができました。「マッサージが気持ちよかった」「話を聞いてもらえた」などの言葉をきけたことは、励みになりました。訪れる方が少しでも気持ちが楽になって、「きてよかった」と思っていただけのような活動を行なっていきたいと考えています。



気持ちが楽になった！

＜チェリアフェスティバル2014＞

委員 後藤一子

平成26年10月19日（日）遊学館で開催し、実施延べ人数58名で、20歳代から80歳代の方の参加がありました。

日常生活を送る中で、健康に関する疑問や不安、悩みなどの相談を受け、「じっくり話を聞いてもらえてよかった」「日々の生活を見直すきっかけになってよかった」などの感想が聞かれました。「まちの保健室」事業目的にある様々な不安や悩みに対し、気軽に話せる場を提供することが出来たように思います。

今後も地域住民の健康増進に役立つような活動を継続していききたいと考えています。



生活習慣大事だね

最北支部の活動状況

最北支部教育委員 齊 藤 紀美江

最北支部では、毎月1回役員会を開催し、支部活動の充実を図っています。研修会は第1回目を9月12日（金）に新庄市ゆめりあで、みゆき会病院看護部長の伊藤早苗氏を講師にお招きし「ラフターヨガでリフレッシュ」と題したリフレッシュ研修を行いました。ラフターヨガは、タフター（笑い）とヨガの呼吸法を組み合わせた軽運動です。伊藤先生の合図で、歩き回ったり動いたりしながら、皆で大きな声で笑い、とても楽しい時間を過ごすことができました。参加者から、「リフレッシュでき、皆、始まる前と顔が全然違う。」「久しぶりにこんなに笑った。普段笑っていないことに気付いた。楽しかった。」などの声が聞かれ、ラフターヨガの効果を実感することができました。

第2回目は、11月5日（水）に新庄市ゆめりあで、山形県看護協会会長川村良子氏から「日本看護協会と山形県看護協会の活動内容について」と題し講話をいただき、現在の看護協会の動きについて理解を深めることができました。忘れられない看護のエピソード紹介から、看護の心の原点を振り返り学ぶ事が出来ました。

また、大蔵村診療所所長 荒川光昭氏から「大蔵村での在宅医療の取り組みと現状」と題した講話をいただき、在宅医療を始めたきっかけや事例紹介を聞きながら、本人や家族が望む医療や看護の提供を考える研修会となりました。

まちの保健室は10月4日（土）新庄市、10月11日（土）尾花沢市を会場に実施し、127名の参加がありました。まちの保健室を心待ちにして参加した方や、「健康を振り返るきっかけになった」という30～40代の方の声も聞かれました。

最北支部では、県や他支部と連携しながら、これからもより多くの会員の皆様が参加できるような研修会と、地域の方に楽しみにしていただけるまちの保健室を実施していきたいと思ひます。



第1回研修会「ラフターヨガでリフレッシュ」の様子



まちの保健室 尾花沢会場の様子

置賜支部の取り組み

置賜支部教育担当 野 田 みさ子



川村会長の講話

今年度は8名の新役員を迎え、総勢18名のメンバーで活動がスタートしました。第1回研修会は7月の梅雨前線による大雨の影響で、河川の氾濫や土砂崩れ等の災害を考慮して、急遽前日に研修会の延期を決定し、無事9月13日（土）、公立置賜総合病院にて52名の参加をいただき開催いたしました。初めに山形県看護協会、川村良子会長より「職能団体としての看護協会の役割、看護職の就業状況、チーム医療、看護職業人としての心構えについて」ご講演いただき、看護の質向上・働き続けられる環境作り・ニーズに応える

看護領域の開発に目を向けて取り組んでいくことの重要性を再認識しました。次に、二本松会上山病院、臨床心理科 佐藤秀実先生より「こころは元気ですか？ ～ストレスマネジメントとセルフケア～」のご講演をいただきました。日頃抱えているストレスをどのようにコーピングしていくか、自分の生活や仕事のプラス面を見つけることや日常的な生活を整えていくことが大事であることを、とてもわかりやすく教えていただき、心が癒される研修会でした。今後は接遇マナー、ラフターヨガをテーマに研修会を予定しています。また、「まちの保健室」では、血圧、体脂肪、骨密度測定、健康相談と毎年常連の方もいるほど様々なイベントを開催しております。

会員の皆様と一緒に連携を図り、ニーズに沿った活動ができるよう役員全員で頑張っていきたいと思ひますのでよろしくお願いいたします。



講義される佐藤秀実先生



まちの保健室開催 8月9日（土）いいでめざみの里

理事会の開催報告

平成26年8月28日(木) 第5回理事会

- <主な審議事項> 1. 平成26年度山形県健康福祉部との業務推進懇談会の情報交換の議題(案)について<承認>
2. 理事・監事の兼職届けについて<提出する>

平成26年9月25日(木) 第6回理事会

- <主な審議事項> 1. 公益社団法人山形県看護協会訪問看護会館使用規程(案)について<承認>

平成26年10月30日(木) 第7回理事会

- <主な審議事項>
1. 平成27年度山形県看護協会通常総会・職能研修会の日程について
・平成27年6月19日(金)に決定
2. 平成27年度日本看護協会会長表彰者推薦の広報(案)について<承認>
・ホームページと広報紙「山形いぶき」で行う
3. 平成27年度山形県看護協会の委員会体制の見直し(案)について<承認>
・常任委員会:在宅ケア推進委員会(特別委員会から変更)
・会員拡大対策委員会(新設)
・認定看護管理者教育課程教育運営委員会:3委員会から1委員会に変更

8月下旬から11月上旬の事業実施状況について

- ・平成26年8月12日(火)
「訪問看護会館」完成引渡し
- ・平成26年8月19日(火)～10月24日(金)
認定看護管理者教育課程セカンドレベル
- ・平成26年8月23日(土)
「患者と取り組む医療安全」公開フォーラム
- ・平成26年9月1日(月)
(統合)訪問看護ステーションやまがた運営開始・辞令交付
- ・平成26年9月5日(金)
「訪問看護会館」内覧会・竣工式・祝賀会
健康福祉部との業務推進懇談会

- ・平成26年9月11・12日(木・金)
看護職のWLB推進ワークショップ
- ・平成26年9月18日(木)～25日(木)
医療安全管理者養成研修会
- ・平成26年10月2・3日(木・金)
日本看護学会「在宅看護」学術集会
- ・平成26年10月20日(日)
チェリアフェスティバルでの「まちの保健室」
- ・平成26年10月26日(日)
福島県「県外避難者の心のケア事業」支援者研修並びにボランティア活動(福島市飯坂仮設住宅での芋煮会)
- ・平成26年11月5・6日(水・木) 酒田市飛島での「まちの保健室」

平成27年度山形県看護協会 改選役員及び推薦委員並びに支部役員 平成28年度日本看護協会 代議員及び予備代議員への立候補・推薦について

選挙管理委員会からのお知らせ

平成27年6月19日(金)に開催される平成27年度通常総会(於:山形県看護協会会館)において、山形県看護協会の改選役員及び推薦委員並びに支部役員、平成28年度の日本看護協会の代議員及び予備代議員の選挙を実施いたします。下記の通り、立候補、受付期間についてお知らせいたします。

*改選役員名・人数

*役員任期は1期2年。(但し、任期半ばで交代した場合は併せて1期とする)

1. 会長候補者1名、副会長候補者1名、常任理事候補者2名、書記担当理事候補者1名、会計担当理事候補者1名、監事候補者1名、保健師職能理事候補者1名、
2. 支部理事候補者(山形・庄内・置賜)各1名
3. 全区理事候補者1名
4. 推薦委員候補者4名
5. 支部役員

・山形支部	副支部長候補者	1名、書記担当役員候補者	1名、
	会計担当役員	1名	
・最北支部	副支部長候補者	1名、書記担当役員候補者	1名、
	会計担当役員	1名	
・庄内支部	副支部長候補者	1名、書記担当役員候補者	1名、
	会計担当役員	1名	
・置賜支部	副支部長候補者	1名、書記担当役員候補者	1名、
	会計担当役員	1名	

*受付期間など

立候補される方は正会員3名以上の推薦を受けて、立候補届出書様式(1)及び立候補者推薦届 様式(2)を選挙管理委員長宛てに届けて下さい。様式1・2の届出用紙はホームページからダウンロードするか山形県看護協会事務局に申し出て下さい。(電話023-685-8033)

「届出先」〒990-2473 山形市松栄1-5-45

山形県看護協会選挙管理委員長 宛

「届出締め切り日」平成27年3月19日(木) 郵送の場合は当日消印有効

*選挙期日及び場所 平成27年6月19日(金) 山形県看護協会会館

推薦委員会からのお知らせ

山形県看護協会の次期役員、平成27年度の推薦委員、及び平成28年度日本看護協会代議員及び予備代議員の候補者について、会員各位におかれましては、次の項目に該当する方をご推薦ください。

なお、推薦していただく方々につきましては、推薦委員会で協議の上、候補者として推薦を確定させていただきます。

*改選役員名・人数

選挙管理委員会からのお知らせと同じ

*注意事項

あらかじめ、ご本人の意思を確認した上でご推薦ください。

「届出先」〒990-2473 山形市松栄1-5-45

山形県看護協会推薦委員長 宛

「届出締め切り日」平成27年1月20日(火) 郵送の場合は当日消印有効

※推薦書が必要な方は、山形看護協会事務局にお問い合わせください。

退院指導に、地域活動にご活用ください!!



県内の訪問看護ステーション情報を「看護協会ホームページ」表紙に掲載しました。

「事業所名」「住所」「地図」「電話番号」などを、村山・最上・置賜・庄内地域ごとに掲載しています。(平成26年4月1日現在の情報です)

在宅での生活を支える訪問看護を進めるには、看護職同士の連携が重要です。退院指導や地域活動、また介護施設での看取り看護の充実等々のために、ぜひご活用ください。

(この取り組みは山形県在宅医療推進事業の一環として行いました:在宅ケア推進委員会)

山形県看護協会会館及び ナースセンター閉館のお知らせ

いつも会館及びナースセンターをご利用いただき、ありがとうございます。

12月28日(日)より翌年1月4日(日)まで会館を閉館させていただきます。

12月27日(土)は15時まで開館いたしますので、ご利用ください。また、ナースセンターは12月27日から1月4日までお休みとなります。

ご不便をおかけしますが、よろしくお願いいたします。

ナースセンターだより

ナースセンターの登録が簡単になります!!



2015 年4月から 新サービスを追加

★ 2015 年4月から「e-ナースセンター」のホームページがリニューアル!! ★

登録に必要な入力項目を大幅に削減し、求人・求職登録が簡単になります!!

スマートフォンに対応しているため、いつでもどこでも情報を得ることができます。

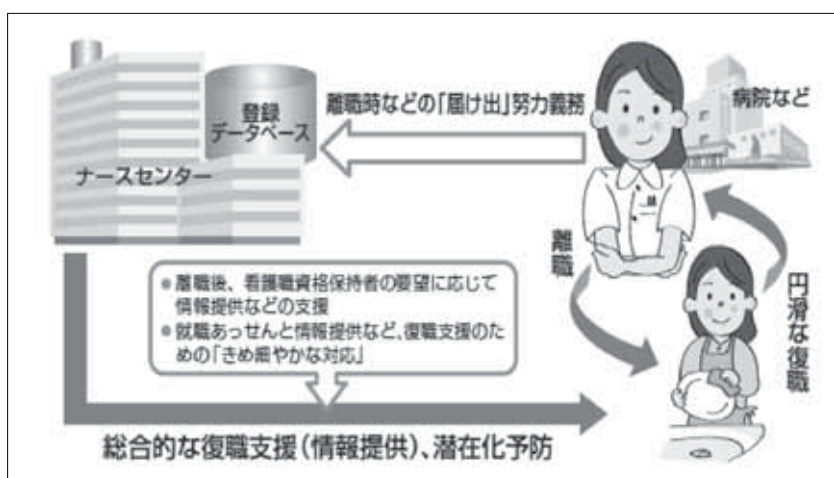
病院・施設等への直接応募や、条件に合う施設リストがすぐメールで届くなど、便利な機能がいっぱいです!!

★ 2015 年 10 月から、ナースセンターへの届け出が努力義務となります。★

離職者のスムーズな復職に向け、離職時などにおける都道府県ナースセンターへの届け出が努力義務となります。(「看護師等の人材確保の促進に関する法律」の改正)



届け出の努力義務化で、再就業を後押し



届け出制度の主な内容

① 離職時などにナースセンターへの届け出が努力義務化

「病院等を離職した場合その他の厚生労働省令で定める場合」の看護師等は、「住所、氏名その他」を都道府県ナースセンターに届け出るよう努めなければならない。

従来、看護職は資格を取得したときに看護師籍等に登録され、その後は就業している場合に限って、2年に1回「業務従事者届」を就業地の都道府県知事に届け出ることが義務付けられていた。

今回の新制度では就業、未就業に関係なく、離職時などに届け出が努力義務となる。

* 届け出の条件を定める厚生労働省令は今後発令の予定

② 来年 10 月に制度創設

届け出制度は 2015 年 10 月に創設。

創設後は、スマートフォンやパソコンのナースセンターのサイトを通じ、情報をナースセンターに送信できる仕組みが整備される。各都道府県ナースセンター(各看護協会)で、登録することもできる。

③ 医療施設にも協力求める

病院等の開設者等や都道府県、国の機関(ハローワークなど)も届け出に必要な支援に努める。

看護職個人による届け出の努力に依存するだけでなく、病院等の開設者等に対しても、届け出が適切に行われるように、支援するよう努めることが法律に明記された。

公益社団法人日本看護協会 協会ニュース 2014 年号外 より



information

平成 26 年 12 月は、看護職員業務従事者届の提出があります。

平成 26 年 12 月 31 日現在、看護業務に従事している者は、その就業地の都道府県知事に業務従事者届け出の提出が義務づけられています。

届出用紙は、県より勤め先に送付されます。忘れずにご提出をお願いいたします。

問い合わせ先：県地域医療対策課 TEL：023-630-2256

平成 26 年度「ふれあい看護体験」



平成 26 年 5 月 11 日(日)～17 日(土)の「看護週間」に、県内の病院・診療所・福祉施設・訪問看護ステーション 79 施設において、ふれあい看護体験が行われました。今年度は、高校生 403 名、一般の方 1 名の合計 404 名が参加しました。参加者より、「いい経験になった」「やりがいを感じた」等の感想をいただき、また将来の夢への決意を固めたという方もおりました。

参加者の感想と各施設よりいただいた写真をまとめた「ふれあい看護体験感想文集」もできあがり、参加者、参加施設、病院等へ配布しました。

【日本海総合病院】での看護体験

酒田南高等学校 佐藤 未結

今回初めて参加してみて、最初は緊張と不安でいっぱいでした。しかし、同じ目標を持つ仲間や看護師さんとふれあうことで、自然と気持ちに余裕を持つことができました。

体験を通して、看護という職の大変さ、患者さんを一番に思う大切さを実感しました。一生懸命な看護師さんや患者さんをみたら、元気をもらいました。私ももっと体力をつけて勉強をして、必ず看護師になりたいと思います。

【介護老人保健施設 紅寿の里】での看護体験

山形県立寒河江高等学校 渡邊 真実

私は今回、ふれあい看護体験に参加して、看護師は病院だけではなく、様々な場所で活躍できることを知りました。看護師は介護施設でもその力を十分に発揮できるのだと感じました。

施設の雰囲気は常に明るく、利用者さんと看護師さん、介護福祉士さんたちとのつながりを感じました。私も、書道・足湯体験、昼食介助を通して、利用者さんとながることができたように思います。今回の体験は、私にとって良い刺激となりました。



e-ナースセンター

に登録しよう!!



スマートフォン
からぜひ
ご登録ください



山形県看護協会HPから、登録票をダウンロードできます。郵送・FAXでも受付しています。

- ①こんな時は必ずナースセンターへご連絡ください。
 - 1) 就職先が決まった時(自己就職・職安就職も含む)
 - 2) 氏名・住所・電話番号が変わった時
 - 3) 求人施設で採用が決まった時や、充足した場合
- ②登録有効期間は、求人・求職ともに6ヵ月です。
継続の場合は更新の手続きが必要ですので、ご連絡ください。

携帯サイト

山形ナースセンターだより

を活用しよう!!



QRコードから
求人情報を
チェックしてみよう!



詳しくは、PC・携帯から

「山形ナースセンターだより」を検索!!

山形ナースセンターだより

検索

山形県ナースセンターにおける求職登録

職種別登録状況

平成26年 11 月10 日現在

職 種	保健師	助産師	看護師	准看護師	合計
登録者数	23	8	197	34	262

内訳(登録262名のうち)
未就業登録者 130 人
就業中登録者 129 人
有資格学生登録者 1 人
無資格学生登録者 2 人

山形県ナースセンター (山形県看護協会内)

e-mail:yamagata@nurse-center.net

直通 ☎ 023-646-8878

welcome 山形

山形のいいところ

山形徳州会病院 渡 邊 千 春



震災を機に山形にきて4年目になります。山形にきて驚いたことは寒暖の差、特に朝晩の温度差が大きいことに驚きました。朝の冷え込みは以前住んでいた所と大違いですが、だからこそ山形は食べ物が美味しいのだと思います。

山形はサクランボをはじめ果物がおいしくて有名ですが、お米や野菜もおいしくて驚きます。特にお米のつや姫を食べたときは、さすが「つや姫」と名付けるだけあり艶がとてきれいで、色も真っ白で味もすばらしくとても感動しました。今まで食べたお米の中で一番美味しいと思います。子供たちもおいしいおいしいと言って食べ、我が家の米の消費量はかなり

あがってしまいました。

山形にきてもう一つ驚いたことは日帰り温泉の料金の安さです。私は宮城と福島に住んでいましたが、宮城、福島の相場は800～1,000円前後ですが、山形は300～600円前後とかなり安く、温泉好きの私としてはとても嬉しいことです。しかも車で30分圏内のところに蔵王、天童、上山、山辺温泉などがあり、異なる泉質の温泉が楽しめます。山形県は各市町村に必ず一つは温泉があるのだそうです。山形の温泉を制覇できたらいいなと考え、休日は温泉巡りを楽しんでいます。

山形は自然がとても豊かで、その自然が汚染されず美しく保たれています。何と言ってもすばらしいのが人間性で、非常に温かみがあります。私が山形に来たばかりの頃、知らない小学生から大きな声で「こんにちは。」とあいさつをされました。しかも、通学している子供たちほぼ全員にあいさつされました。また、山形にきた初冬には山形で30年ぶりの大雪にあい、90cm以上の雪が一晩で降りました。私は半べそをかきながら不慣れな雪かきをしていると、近所の方々が手伝ってくれました。

震災後知らない土地に引っ越してきた私は不安だらけでした。しかし、近所の人も職場の人もみんな優しくしてくれました。私がここまでやってこられたのは、みんなが私に優しくしてくださり、力を貸してくれたからです。山形は本当にいいところです。

ぜひ山形に遊びに来て下さい。



四季を感じる山形

鶴岡市立荘内病院 澁 谷 佑 子



東京から来県し、早8年が経ちました。振り返ると、庄内弁が衝撃的だったことや、「んだんだんだ」の発音が難しくて自宅で密かに練習していたことが思い出されます。

東京で暮らしている頃にはあまり気にしなかったこと、それは四季です。

庄内は春が短く、入学式の頃に桜が咲かないのにはまだ違和感を感じますが、夏はからっとして過ごしやすいです。そして、電線や電灯が視界に入らない広大な夜空を見上げて観賞する赤川の花火は毎年の楽しみです。冬には雪の上を歩けるのがおもしろくて、冬場だけは徒歩で通勤しています。また、山形市で看護教員養成講習会を受講した昨年には河川敷きの芋煮会を体験し、その時みんなで作った芋煮の味は忘れる事が出来ません。

このように、四季を感じ季節の変化を楽しめるようになったのは、山形で暮らしてからのことでした。今後も山形ならではの楽しみを見つけながら仕事に励んでいきたいと思っています。



河川敷きの芋煮会を満喫！

INFORMATION

山形市と医療4団体が協定結ぶ

大規模災害時に備え、山形市は迅速な医療体制を整えるため医療4団体（市医師会・市歯科医師会・市薬剤師会・県看護協会）と救護活動に関する協定を結びました。

震度5弱以上の地震など大規模災害が発生した際、各団体は市の要請に応じて連携を図りながら迅速な医療救護活動の対策を講ずることになります。



市川山形市長と川村会長

平成27年度公益社団法人日本看護協会会長表彰候補者の調査について

山形県看護協会ホームページに掲載してますとおり、日本看護協会会長表彰候補者の調査を行っております。推薦者がございましたら、協会宛てに候補者調査をお送りください。詳細は、協会ホームページの最新情報をご参照頂るか、もしくは山形県看護協会事務局までお問合せ願います。

提出期限：平成26年12月3日（水）

問合せ・提出先：山形県看護協会 総務課 宛 Tel:023-685-8033

健康お役立ち情報

シリーズ3

疲れ目

今回は「疲れ目」の原因、症状と予防法についてご紹介します。

〈原因〉

眼のピントを合わせる調整力が低下したり、目の毛様体筋などの筋力低下、心理的要因などが考えられる。

〈症状〉

目が乾く、痛む、充血する、視力低下（ピント合わせづらい）
目に異和感がある
肩こり頭痛がする
イライラする、やる気がなくなる など

〈予防〉

その1 クルクル体操

※パソコンを使った仕事、目を酷使する仕事の人へ

- (1) 一度目をギュッと閉じて、パッと開ける
- (2) 頭を動かさない様に黒目を右へ
- (3) 同じ様に左へ黒目を動かす
- (4) 次に上へ動かす
- (5) 最後に下へ動かして(1)へ戻る



〈予防〉

その2 ツボ

ツボは顔に左右対称に存在します。目の周りにはまだまた沢山の疲れ目に効くツボがあります。おさえるところとした痛みがある所がツボです。一カ所を5～6回くらい押します。場所がわからない時はツボの周囲を軽くマッサージすると良いです。



編集後記

10月2・3日に開催された「日本看護学会－在宅看護－学術集会」の取材をもとに編集しました。実際に参加できなかった方も楽しめる内容になっていると思います。これからも皆様に興味深く見て頂ける「山形いぶき」になるよう努力していきます。よろしくお願い致します。

お詫びと訂正

「山形いぶきvol. 126」に次のような間違いがありました。ご迷惑をおかけしました皆様にお詫びして訂正いたします。

- ① 6ページ 「みんなで話そう看護の出前授業」 6月3日担当講師 病院名
誤：山形県立中央病院
正：山形県立新庄病院
- ② 12ページ 夏まつり テーマ名
誤：山形大花火大会 鑑賞会
正：山形大花火大会 観賞会

ご寄付をいただき、
本当にありがとうございました。

◇今野フサ子様より、1,000万円のご寄付をいただきました。

◇会員 川村 良子様より、100万円のご寄付をいただきました。

温かいお気持ちに心から感謝申し上げます。